

常に新たに

白糸だより（舞鶴市立白糸中学校）
通算 1386 号平成 30 年 12 月 3 日発行
HP: <http://shiraito.maizuru.ed.jp>



成功体験を自信につなげる！

校長 秋原 栄人

師走になり、日増しに寒さがつのる季節となりました。今年の冬は
は平年並みの寒さという長期予報ではありますが、猛暑の年の冬は大
雪・・・そんなイメージもあり、またここ数年は局地的な大雪（ゲリ
ラ豪雪）も降っているということで、保護者、地域の皆様には、冬の
備えを十分にさせていただき、健康にご留意いただきたいと思います。



オリオン部定期演奏会11/18

1週間にわたってオープンスクールを実施しました。とりわけ二日
間開催した学校祭には、のべ750名の保護者や地域の方々にご来校い
ただき、合唱や展示作品をご覧いただきました。また、18日には、吹奏楽部の定期演奏会にも
120名を超える保護者や地域の方々にご来校いただき、大変感謝しております。今学期も残す
ところあと一か月です。天候不順で延期を余儀なくされた体育祭に始まり、新人戦や学校祭、
自分たちの目線で行ったホットハートプロジェクトなど、さまざまな行事や体験を通して
多くのことを学び、成功させる中で満足感や成就感を味わうことができました。それらの経験
が生徒一人一人の自信につながることを願っています。



「自己決定」＝幸福感

先日、ある教育雑誌に、**「学歴、所得より 自己決定」が幸福感に**という記事が掲載されてい
ました。その記事によると、

国連の2018年「世界幸福度ランキング」では、日本の幸福度ランキングは54位で、昨年
の51位から後退。こうしたなか、学歴や所得よりも、自分の進路を自分で決める「自己決
定」が幸福感に強い影響を与えているという調査結果を、神戸大学と同志社大学の研究チ
ームが発表した。

神戸大学の教授らは、20～69歳の男女約93万人にインターネットでアンケートを配信し、
約2万人から回答を得た。約100個の質問への回答をもとに、所得、学歴、自己決定、健康、
人間関係の5つの要因が幸福感にどう影響しているかを分析。自己決定度の評価では「中
学から高校への進学」「高校から大学への進学」「初めての就職」について、自分の意志で
進学する高校や就職する企業を決めたか否かを尋ねた。

その結果、健康と人間関係に続いて、自己決定の影響が大きかった。
進学先や初めての就職先を「自分で希望を決めた」を選んだ人ほど**幸
福感が強く**、「全く希望ではなかったが周囲の勧めで決めた」を選んだ
人ほど**不安感が強い**傾向が見られた。**自己決定によって進路を選んだ人**
は、自らの判断で努力することで目的を達成する可能性が高くなり、
成果に対しても責任と誇りを持ちやすくなることから、**達成感や自尊
心により幸福感が高まる**ことにつながっていると考えられる。



「もう中学生なんだから自分で判断しなさい」という言葉は、幾度となく聞かされていると
はと思いますが、あらためて自己決定の大切さが理解できる記事でした。2学期も終盤を迎え、
三者懇談も近くなってきました。幸せの形は人それぞれですが、学校としましても中学生とい
う大切な時期に、「自己決定」を大切にしたい指導をしていきたいと思ひます。ご家庭でもご指
導のほどよろしくお願ひいたします。

入賞おめでとう



●近畿選抜バレーボール大会中丹予選会
男子 第3位 府大会出場

●第5回中丹中学校秋季選抜剣道大会
個人男子の部 3位 荒木智朗



＜部活動体験中＞

●舞鶴市中学校英語祭 (OEF) 出場

＜1年＞瀬野あやか ＜2年＞築谷みゆ ＜3年＞藤垣絢女

●JA共済京都府小中学生書道コンクール

半紙の部 京都府教育委員会教育長賞

中西 望 (3年) → 全国コンクールへ

半紙の部 JA 共済京都府本部長賞・銅賞

水上奈々子 (2年)

条幅の部 JA 共済京都府本部長賞・銅賞

中西 望 (3年)

●舞鶴市人権標語

入選 山本 心晴 (3年)

「笑顔こそ 世界をつなぐ 共通語」

佳作 桐村 青 (3年)

「虹色に 輝かせよう 個性の色」

●「わたしの町のたからもの」絵画

＜特別賞＞

教育長賞

下道 彩咲 (3年)

舞鶴ユネスコ協会会長賞

大澤 礼萌 (2年)

＜入賞＞

優秀賞

一瀬 鮎美 (2年)

與名 彩佳 (1年)

優良賞

下仲ひより (2年)

船越 菜月 (2年)



小学生の部活動体験 (12/1~2) 実施しました。



夏から延期されていた「部活動体験」の風景です。休みの日でしたが、たくさんの小学生が参加してくれました。

12月 行事予定



3日(月)色覚検査2-1 **完全下校16:40(12月中)**

4日(火)色覚検査2-2

5日(水)色覚検査6組 校区研修会 ノ一部活デー

6日(木)色覚検査2-3

7日(金)色覚検査2-4

11日(火)ノ一部活デー

12日(水)三者懇談会(~18日 給食あり 13:25下校)

14日(金)現地交通安全指導 PTA選挙管理委員会

17日(月)6組マナー学習

18日(火)立会演説会

19日(水)ノ一部活デー

21日(金)ふるさと学習講演会(4限) **給食あり**

2学期終業式(15:00下校 部活は16:40完全下校)



オリンピック・パラリンピック 講演会実施しました。



全校生徒にオリパラの説明をする体育科の山崎教諭



視覚障害のある「パラクライミング世界チャンピオン」の小林幸一郎氏(50)にご講演いただきました。ご自身の経験をもとにした中学生への熱いメッセージであふれていました。



No sight

But On sight.

「On sight」とはクライミング用語で、「初めてのルートを落ちる

こと無く完登すること」を言うそうです。つまり「見えなくなってもオンサイトで登れるんだ!」という意味です。

○何でもないように見えるが実は大きなチャンスがやってくる。自分がそれに気づき、つかみ取ることだ。
○そのためには、プチチャレンジを繰り返すことだ。
○期待は「他人に何かをしてもらって」という感じだが、希望は「実現のために自らが行動する」という感じだ。

＜お願い＞12日(水)から三者懇談会が始まります。懇談いただく前に、教室前の廊下に設置してあります「保護者アンケート」の記入をよろしく願いいたします。



